

首都圏情報 FROM TOKYO

大阪・関西万博共創チャレンジ登録

イー・キュー・マネジメント技研

経済産業省創設「おもてなし規格認証」やISO、CSRなどマネジメントシステム構築・推進を支援するイー・キュー・マネジメント技研(EQML)、本社東京都町田市、前田浩社長は、このほど、大阪・関西万

博「TEAM EXPO2025」プログラムの共創チャレンジに承認、登録された。

同チャレンジは、万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGs(持続可能な開発目標)達成に貢献するため、自らが主体となり、行動を起こしている活動などを登録、推進するもの。

同社の登録チャレンジは、22年度からサービスエクセレンスの国際規格・ISO23592に準拠し改定される同規格認証によるエクセレントサービス(優れた顧客体験とテライトを起こさせるおもてなし)の展開。また、組織の社会的責任のISO26000の七つの中核主題を用い、企業・団体、地域の課題を抽

出し、実効性ある取り組みや、新商品・サービスなどの共創を図り、自立型地方創生を促進する。両チャレンジでSDGs達成に貢献していく。

同社は、同規格認証で、認証機関の日本CSR協会とのコンソーシアム認定を得て、サービス業から製造、建設、IT、まちぐるみなどの豊富な認証・支援実績を持つ。顧客から感動・共

鳴を得られる新たなおもてなし創作を後押しするほか、同規格認証やISOの審査時などに併行してSDGs成熟度評価を行い、登録も発行する。

同規格認証のISO23592準拠は、「売り手よし、買い手よし、世間よしの『三方よし』のみならず、海外にも行動基準を広げること、世界平和にも貢献できる」(同社)としている。